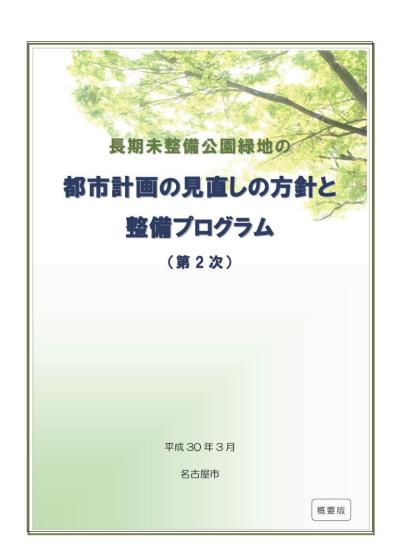
《長期未整備公園の見直しについて》

- 第 1 号議案 名古屋都市計画用途地域の変更(名古屋市決定)
- 第 4 号議案 名古屋都市計画公園の変更(名古屋市決定)

■長期未整備公園緑地の都市計画の 見直しの方針と整備プログラム(第2次)

(平成30年3月策定)



都市計画の見直し検討区域

- •13公園緑地
- ・削除 約64ヘクタール追加 約 3ヘクタール

■都市計画の見直しの基本方針 (概要版 8ページ)

都市計画の見直しの基本方針

- 【1】樹林地の保全、文化財の尊重 現況でまとまりのある樹林地や、遺跡等で歴史上又は学術上価値の高いものがある区域 は、計画をできる限り変更しないものとします。
- 【2】緑を保全する制度の活用 特別緑地保全地区等の緑を保全する制度の活用が可能であり、公園の機能面からも支障 がない場合は、計画区域の削除を検討します。
- 【3】地域のまちづくりの中での変更 近隣で土地区画整理事業等によるまちづくりが行われる場合や、同等の機能・規模を 持つ用地が取得可能な場合は、計画の位置や区域の変更を検討します。
- 【4】一体利用が効果的な施設の公園への編入 都市計画公園緑地に隣接し、公園緑地と一体的に利用することが効果的な公共施設等に ついては、既決定区域への編入を検討します。
- 【5】計画に支障のない範囲での宅地化の進行区域の削除
- 1) 縁辺部にあり、道路等によって区切られた街区等でおおむね8割以上宅地化している区域は、公園の機能面からの支障がない場合、削除を検討します。

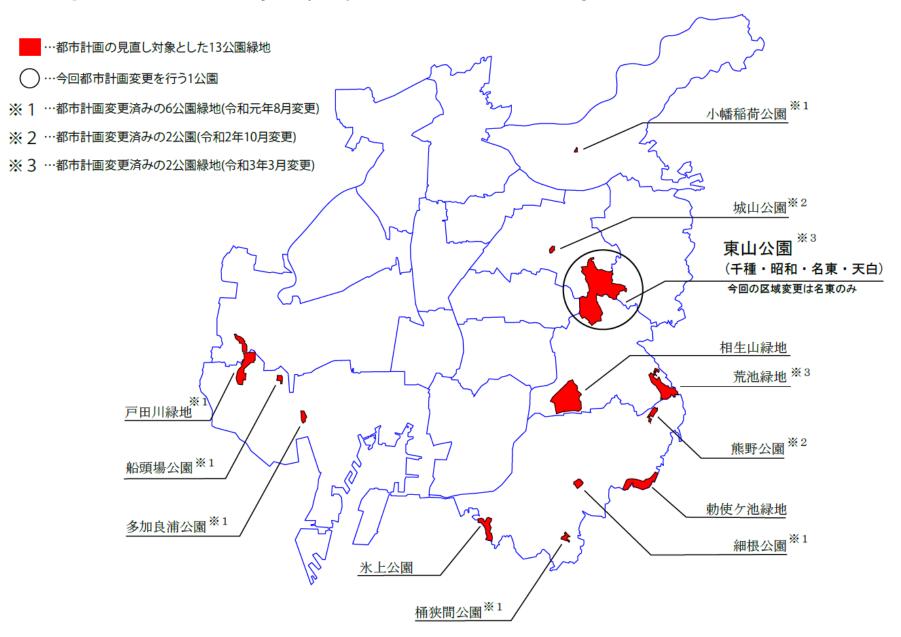
新たな視点の追加

- 2) 縁辺部にあり、おおむね 1ha 以上かつ 8 割以上宅地化している区域は削除を検討します。
- 3) 樹林型の公園緑地において、**おおむね 1ha 以上かつ 50 年以上非樹林地**となっており、 周辺樹林への影響がない区域は削除を検討します。
- 4) 規模が大きく移転困難な施設(学校グラウンド、一団の墓地等) は区域削除を検討します。

■都市計画変更の概要

種別	名称	変更の概要	用途地域 変更の有無	具体的な 変更内容
総合公園	5·6·1 号 東山公園	宅地化の進行区域の削除 (面積 約 253. 0ha→約 243. 4ha)	0	参考図

■都市計画変更を行う公園緑地の位置図



■東山公園の概要

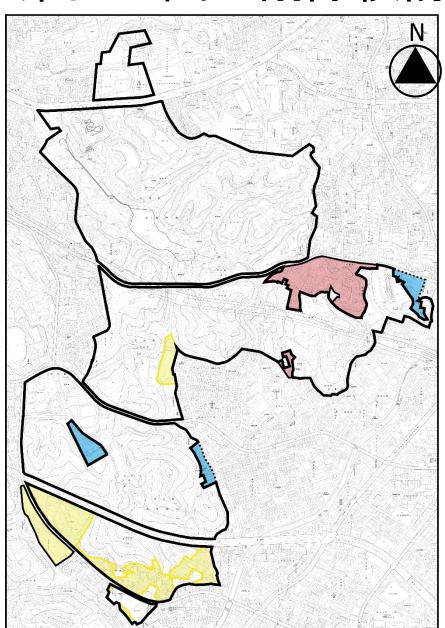
当初決定:昭和22年5月6日

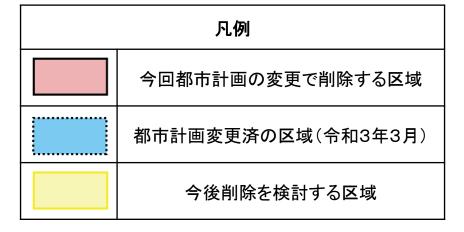
種別:総合公園

計画面積:約253.0ha



■東山公園の削除検討区域





参 考 図 (その1)



